

令和 2 年 12 月定例議会 議案概要			担当課	総務課	種別	予算
議案番号	議案第 150 号	議案名	令和 2 年度琴浦町一般会計補正予算(第 10 号)			
目 的	ポート赤碕ふれあい広場遊具リニューアル実施設計委託料、企業版ふるさと納税地方創生基金積立金、コロナ後の観光支援事業、国道 9 号線街路灯撤去工事、新型コロナウイルスワクチン接種事業等にかかる補正を行うもの。					
内 容	1 補正額[単位：千円]					
	補正前予算額		補正額	補正後予算額		
	13,367,806		△2,985	13,364,821		
	2 補正内容					
	この度の補正内容については、次のとおりである。					
	(1) 企業版ふるさと納税地方創生基金積立金[2,310 千円]					
	ア 目的					
	令和 2 年 7 月に町の地域再生計画が内閣府から認定されたことに伴い、企業版ふるさと納税を受入れて地方創生事業へ活用する。					
	イ 補正内容					
	受け入れた寄附の使途は「子育て教育」「健康活力」「経済産業」「観光交流」「関係定着」といった町の事業を企業が選択し、いったん、基金へ積み立てした上で、選択された事業へ繰り入れる。					
	今回受け入れる寄附金は次のとおり。					
	事業所名		寄附金額	活用希望事業		
株式会社デマンド 介護付き有料老人ホーム ゆうゆう壱番館よなご		1,000 千円	熱中小学校事業			
ローカルエナジー株式会社		100 千円				
株式会社内田洋行		1,000 千円				
合 計		2,100 千円				
ウ 経費						
企業版ふるさと納税地方創生基金積立金[2,310 千円]						
※「積立額のうち、寄附を充てる分の割合が 10 割未満」という要件に従い、寄附額の 10%(210 千円)を一般財源にて上乗せて積み立てる。						
エ 財源						
(ア) 企業版ふるさと納税地方創生寄付金[2,100 千円]						
(イ) 一般財源[210 千円]						

(2) 災害応急対策業務に係る傷害保険料[321 千円]

ア 目的

県内測量設計コンサルタント業者と災害応急対策業務に係る協定を締結するに当たり、業務委託契約締結までの期間に早急に対応すべき災害応急対応箇所の事前調査に係る傷害保険料を負担し、速やかな現地調査等の業務執行を図る。

イ 補正内容

災害応急対策業務に従事する測量設計コンサルタント作業員に係る傷害保険料を計上する。

ウ 経費

傷害保険料[321 千円]

エ 財源

一般財源[321 千円]

(3) コロナ後の観光振興事業[1,767 千円]

ア 目的

環境省では、国立公園内でのワーケーションを推進している。

コロナ禍で注目が高まる現状を踏まえ、一向平キャンプ場でワーケーションを受け入れる環境整備を行う。

イ 補正内容

キャンプ場内にある施設のほか、アンテナを設置することにより、キャンプサイトにおいてもインターネットが利用できるよう公衆 Wi-Fi を整備する。

また、森林体験・交流センター内でデスクワークができるよう、キャンプ用品を使用した机・イス等を設置する。

ウ 経費

(ア) 一向平キャンプ場公衆 Wi-Fi 整備工事[1,379 千円]

(イ) 一向平キャンプ場机・イス・プリンター備品購入費[388 千円]

エ 財源

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金[1,767 千円]

(4) 国道 9 号線街路灯撤去工事[4,323 千円]

ア 目的

八橋地内における国道 9 号線道路拡幅工事に伴い、占用している商工街路灯の撤去を行うため。

イ 補正内容

国道 9 号線の街路灯 6 本を撤去する。

道路拡幅工事は、4 月早々の着工を計画されているため、同時期に街路灯

撤去の工事発注を行うことにより、交通規制期間の短縮及び経費の削減を図る。

ウ 経費

国道9号線街路灯撤去工事[4,323 千円]

※繰越明許費追加[4,323 千円]

エ 財源

一般財源[4,323 千円]

(5) 戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業補助金[3,051 千円]

ア 目的

県育成のオリジナルイチゴ新品種「とっておき」の普及・振興を図る。

イ 補正内容

育苗受託者のハウス、育苗用ベンチ等の導入に必要な経費を助成する。

(ア) 対象者 1名(予定)

(イ) 助成額 3,051 千円(事業費 4,576 千円×2/3)

補助率 2/3(県 1/2、町 1/6)

(ウ) 内訳 育苗用ハウス(6m×25m×2 連棟)育苗用ベンチ一式

ウ 経費

戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業補助金[3,051 千円]

エ 財源

(ア) 戦略的園芸品目総合対策事業費補助金(県支出金)[2,287 千円]

(イ) 一般財源[764 千円]

(6) ポート赤碕ふれあい広場遊具リニューアル実施設計委託料[10,000 千円]

ア 目的

コロナ禍における外出自粛により親子のストレスによる影響が懸念される中、まちの子どもたちが安心して遊べ、家族で来なくなる地域密着型の公園とすることで子育て世帯の支援を行う。

また、ゲートウェイ機能を有する「琴の浦 IC」から観光客が来なくなる場所として、観光客の周遊、地域特産品の売上の向上、交流人口・関係人口の増加を図る。

イ 背景

コロナ禍による外出自粛による親子のストレスに加え、次のような背景がある。

(ア) 遊具の老朽化(耐用年数の経過)

(イ) 地域密着型「道の駅」へ向けた施設への拠点化の必要性の高まり

(ウ) コロナ禍による地域特産品の売上減少

ウ 補正内容

子どもたちが安全で安心して遊べる公園へリニューアルするための実施設計を行う。

(ア) 公募型プロポーザルによる民間の知恵を活用

(イ) ワークショップ等による町民の意見を設計へ反映

対象者：子ども、保護者、観光客

エ 経費

ポート赤碕ふれあい広場遊具リニューアル実施設計委託料[10,000 千円]

※繰越明許費追加[10,000 千円]

オ 財源

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金[10,000 千円]

カ 今後の予定

時 期	内 容
令和3年 1月～2月上旬	プロポーザル公告
2月下旬	プロポーザル実施・業者決定
3月～7月	ワークショップの開催
3月～9月	実施設計

(7) 障がい児施設通所給付費[3,272 千円]

ア 目的

障がい児の放課後等デイサービス事業所増加、利用者の増加に対応するもの。

イ 補正内容

放課後又は学校休業日に事業所に通い、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流促進その他必要な支援を行う。

(ア) 対象 放課後又は学校休業日に支援が必要と認められた障がい児

(イ) 新規開設事業者 1事業所

(ウ) 新規利用予定者 6名

ウ 経費

障がい児施設通所給付費[3,272 千円]

エ 財源

(ア) 障がい児通所給付費等負担金(国庫支出金)[1,636 千円]

(イ) 県障がい児通所給付費等負担金(県支出金)[818 千円]

(ウ) 一般財源[818 千円]

(8) 新型コロナウイルスワクチン接種事業[4,171 千円]

ア 目的

新型コロナウイルス感染症を予防するために行う予防接種について、供給が可能となった場合、速やかに町民に対し接種を行うことができるよう準備を進める。

イ 補正内容

新型コロナウイルスワクチンの実施に必要なシステム改修及び予防接種券の作成及び配付に係る経費を計上

(ア) 接種対象者 町民 17,000 人

(イ) 接種の概要(見込)

接種回数 2 回(接種間隔：4 週間以上の間を空けて 2 回目を接種)

接種開始時期 未定

ウ 経費

(ア) 新型コロナウイルス予防接種管理システム改修委託料[1,441 千円]

(イ) 予防接種券送付にかかる事務費等[2,730 千円]

エ 財源

新型コロナウイルス接種体制確保事業費補助金(国支出金)[4,171 千円]

(9) 埋蔵文化財発掘調査受託事業[4,914 千円]

ア 目的

県道船上山赤碕線(出上工区)改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査について、県から委託を受けて調査を行う。

イ 補正内容

埋蔵文化財発掘調査に必要な経費を計上

(ア) 調査位置 勝田川尻遺跡(琴浦町大字勝田)

(イ) 調査面積 432.6 m²

ウ 経費

(ア) 発掘作業業務委託料[1,898 千円]

(イ) 表土掘削業務委託料[2,147 千円]

(ウ) その他事務費等[869 千円]

エ 財源

(ア) 埋蔵文化財発掘調査委託金(県支出金)[4,913 千円]

(イ) 一般財源[1 千円]

(10) 図書館システム業務委託における債務負担行為限度額[39,600 千円]

ア 目的

図書館システムが令和 3 年 12 月にリース期間が満了する。

このため、今年度導入する IC タグシステムとの連携や新システムへの移行期間等を勘案すると、次年度早々の業者選定と今年度内にその選定準備を進める必要があることから、令和 3 年度からの図書館システム等更新業務について債務負担行為を追加する。

イ 債務負担行為

図書館システム業務委託事業

- (ア) 限度額 39,600 千円
- (イ) 期間 令和 3 年度から令和 7 年度まで
- ウ 業務内容等
- (ア) 経過
- ・図書館システムのリース期間が令和 3 年 12 月に満了する。
 - ・今年度導入する IC タグシステムと併せて運用開始したほうが経費的にも無駄が少ない。
- (イ) 業務内容 図書館システム、端末機器等の更新
琴浦町図書館本館、赤碕分館 中学校 2 校、小学校 5 校
- エ 業者選定
- (ア) 選定方法 プロポーザルによる選定
- (イ) 理由
- ・複数の図書館システムを体験・比較することにより、琴浦町図書館としてより良いシステムが選定でき、図書館サービスの向上に繋がる。
 - ・1 社随意契約の場合に比べ、競争の原理が働き、更新経費の減少が見込まれる。
- オ 今後の予定

時 期	内 容
令和 3 年 2 月～3 月上旬	プロポーザル公告
4 月中・下旬	プロポーザル実施・業者決定
5 月～10 月	新システム導入・データ移行など
11 月	新システム・I C タグシステム運用開始

(11) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業における
実績見込に伴う減額[△40,335 千円]

実績見込に伴い減額する主な事業

[単位：千円]

事業名	実績見込額	予算現額	補正額
ア 大学生等生活応援交付金	38,000	45,000	△7,000
イ 新生児支援交付金	10,000	12,000	△2,000
ウ 観光看板改装委託料	0	10,000	△10,000
エ 新型コロナウイルス対策特別金融 支援利子補給補助金・積立金	50,197	66,710	△16,513
オ 公共施設公衆用 Wi-Fi 環境 整備委託料	24,348	25,368	△1,020
カ その他	29,976	33,778	△3,802
合 計			△40,335

補足事項

コロナ後の観光振興事業

事業費：1,767千円（商工観光課）

目 的

コロナ禍における地域とリモートワーカーの交流や、平日の観光地の活性化を目的として国立公園内でのワーケーションを推進する。環境省が広報するワーケーション可能なキャンプ場として一向平キャンプ場も登録を行うとともに、受け入れるための環境整備を行う。

公衆 Wi-fi 整備工事 1,379千円

管理棟及び森林・体験交流センターの施設内整備と、それぞれの施設に外部アンテナを設置することにより、キャンプサイトにおいてもインターネットが利用できるようWi-fi整備を行う。



備品購入費 388千円

雨天時など森林体験・交流センター内でもデスクワークができるよう、キャンプ用品を使用した机・イス等を設置



国道9号線商工街路灯撤去工事

事業費：4,323千円（商工観光課）

1.目的

八橋地内における国道9号線道路拡幅工事に伴い、占用している商工街路灯の撤去を行う

2.工事概要

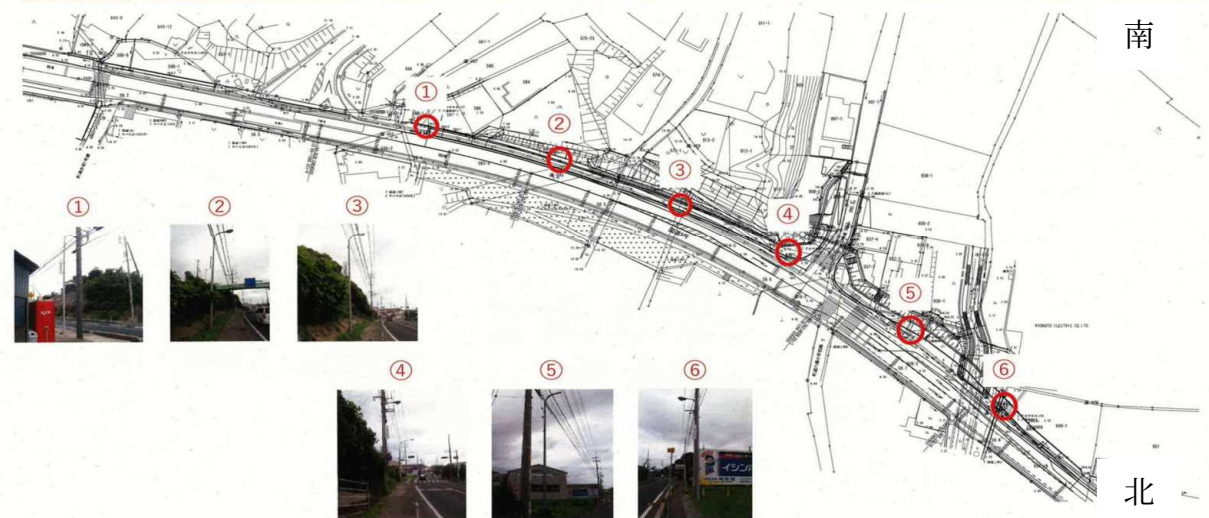
- 工事名：国道9号線商工街路灯撤去工事
- 場 所：琴浦町八橋
- 事業費：4,323千円
- 内 容：国道9号線街路灯6基を撤去
道路拡幅工事は、4月早々に着工予定
同時期に街路灯撤去工事を発注する

3.位置図



4.平面図

平面図（琴浦町八橋）



5.写真



ポート赤碕ふれあい広場遊具リニューアル実施設計委託料 10,000千円

建設環境課

背景

- ・遊具の老朽化（更新時期）
- ・地域密着型「道の駅」への見直し
⇒2つの「道の駅」それぞれの役割を見直し
- ・コロナにより地域特産品の売上減少

目的

コロナ禍における外出自粛による親子ストレスの軽減

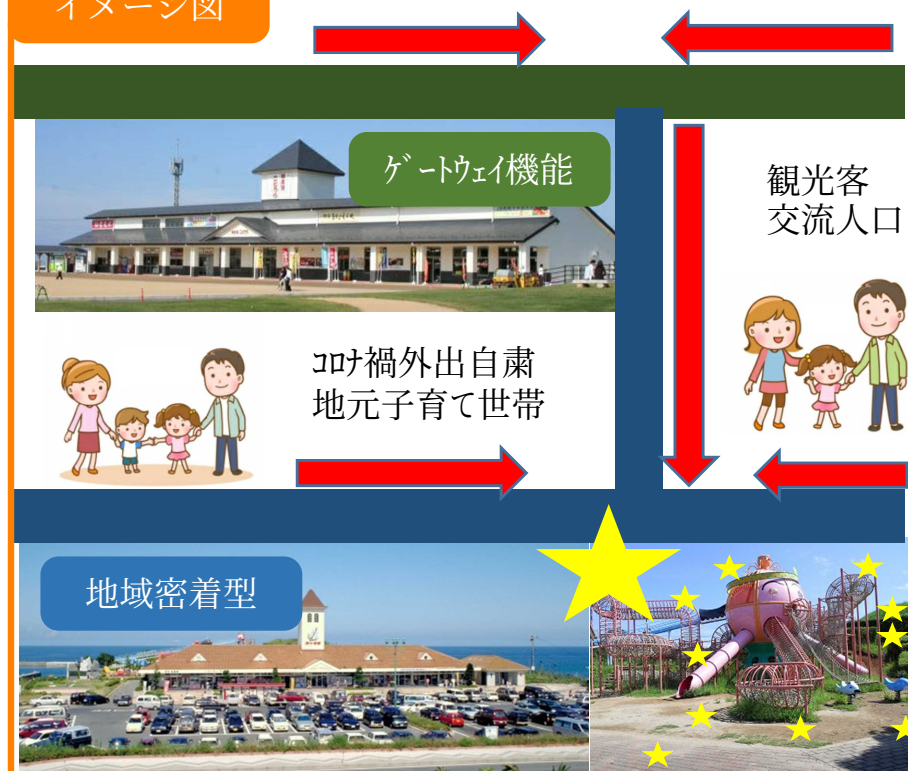
- ・まちの子どもたちが安心して遊べる公園
- ・家族で来たくなる地域密着型「道の駅」（公園）
- ・上の「道の駅」から観光客が来たくなる場所
⇒観光客の周遊、地域特産品の売上向上、関係交流人口

実施内容

遊具リニューアルのための実施設計を行う [10,000千円]

- ・公募型プロポーザルによる民間の知恵を活用
- ・ワークショップによる町民の意見を設計へ反映
対象者：「子ども」「保護者」「観光客」

イメージ図



スケジュール

R2.12月補正 今回の予算計上

↓
R3.2月プロポ（入札）・契約
R3.3月～9月 ワークショップ・実施設計

↓
R3.12月補正 地域創生拠点整備交付金応募

↓
R4当初予算 工事請負費予算計上 ⇒12月完成

1528 新型コロナウイルスワクチン接種事業 (1529 会計年度任用職員（新型コロナウイルスワクチン接種事業）)

事業費4,171千円

(すこやか健康課)

事業目的・概要

現在、国が確保に努めている新型コロナウイルスワクチンについて、来年初頭にも同ワクチンの供給が可能になった場合、速やかに町民に対し接種を行うことができるよう、ワクチンの開発状況及び国の動向等を見据えながら、現段階からシステム改修等の準備をあらかじめ進める。

事業内容・予算

予算額：4,171千円

【内訳】

①予防接種管理システム改修委託 1,441千円

委託料（1,441千円）：1,310,000円×1.1＝1,441,000円

②ワクチン接種券作成・配付 2,730千円

会計年度任用職員（308千円）：報酬、費用弁償

事務費（2,422千円）：接種券帳票用紙印刷、用紙等事務用品、接種券郵送料等

【財源】

令和2年度新型コロナワクチン接種体制確保事業国庫補助金 4,171千円（負担率10/10）

備 考

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| ・国によるワクチン確保計画 | 全体で2億9,000万回分（1億4,500万人分）のワクチンを確保予定 |
| ・接種の概要（見込み） | 接種回数 2回（接種間隔：4週間以上の間をあけて2回目を接種） |
| | 接種開始時期 未定 |

図書館システム業務委託事業 債務負担行為限度額 39,600千円 社会教育課

背景

- ・R3.12月に図書館システムリース期間終了
- ・ICタグ及び周辺機器を導入する場合、システムオプション対応経費として約10,000千円必要
→年割、月割不可能、本体システムとあわせてR3.12月に使用できなくなる。

目的

システム更新をICタグ導入・運用のタイミングに併せることで効率的、効果的に図書館システムを導入する。

- ・ICタグオプションシステム経費の無駄が省ける。
- ・新システムをプロポーザルにより選定することにより、優れた機能のシステムが安価に導入できる。

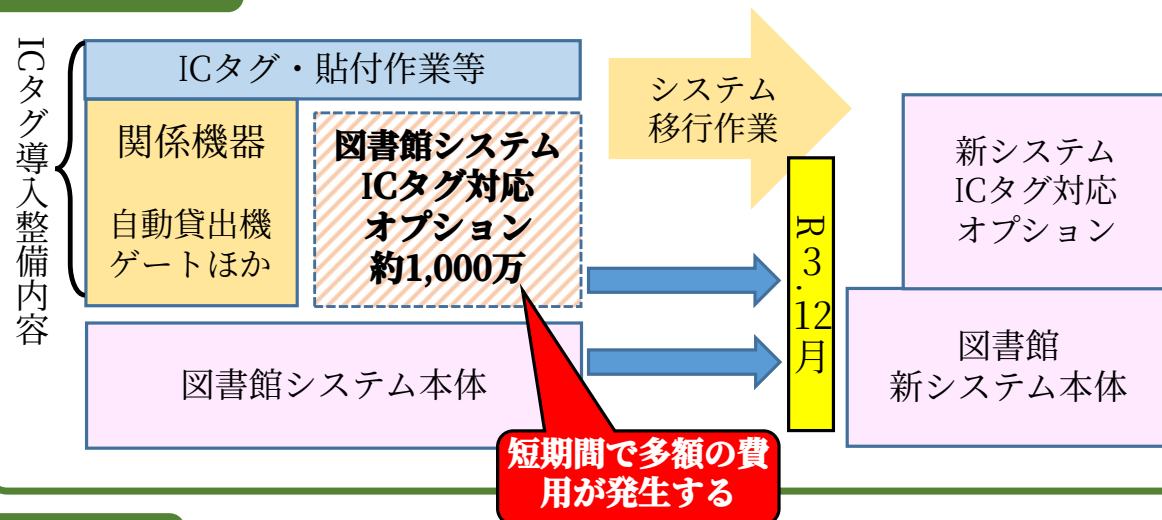
実施内容

今後導入するICタグとの連携や新システムへの移行期間等を勘案すると、次年度早々の業者選定と今年度内にその選定準備を進める必要があることから、令和3年度からの図書館システム等業務委託について債務負担行為を追加する。

限度額：39,600千円

期間：令和3年度から令和7年度

イメージ図



スケジュール

R2.12月補正 債務負担行為

R3.2月～3月プロポーザル公告

R3.4月 プロポーザル実施、業者選定

システム移行 ICタグ関連連携

R3.11月新システム稼働

R2年度事業 ICタグ導入
繰越予定

R3.1月 競争入札、業者選定

システム関係
は新システム
導入側で行う

ICタグ貼付
エンコード作業
機器設置搬入

R3.11月ICタグ運用